ディービーシート・クライアント

dbSheetClient®

モデルシステム事例集

IT による新しい価値創造、それこそが希望に満ちた未来への架け橋

株式会社ニューコム

INFORMATION

はじめに

- この導入事例集に掲載している事例は、導入された企業様のご了解をいただいた上で掲載しております。

これら導入事例の詳細は、随時開催しているプレゼンセミナーでも詳しくご説明しております。
詳しくは当社ホームページより、dbSheetClient のページをご覧ください。
http://www.newcom07.jp/

また、当社ホームページに dbSheetClient の動作画面を動画で紹介しています。
そちらも合わせてご覧ください。

- Excel / Access はマイクロソフト社の商標または登録商標です。
その他記載の各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

- 株式会社ニューコムはマイクロソフト社の認定パートナーです。

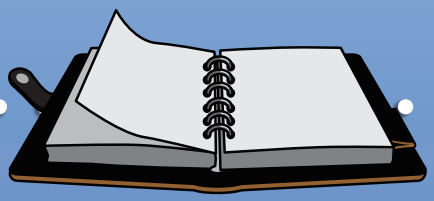
Microsoft Partner
Silver Midmarket Solution Provider

※ 画面事例は、部分的に画質を落として表示している箇所があります。
予めご了承ください。

CONTENTS

営業見込管理システム 04
P/L(損益) モニターシステム 06
PSI 計画管理システム 08
ガントチャートによるスケジュール管理 / プロジェクト原価管理 10
能力評価管理システム 12
BSC の KPI 管理システム 14
勤怠管理システム 16
小口現金管理システム 18
サポート業務支援システム 20
工事物件管理システム 22

営業見込管理システム



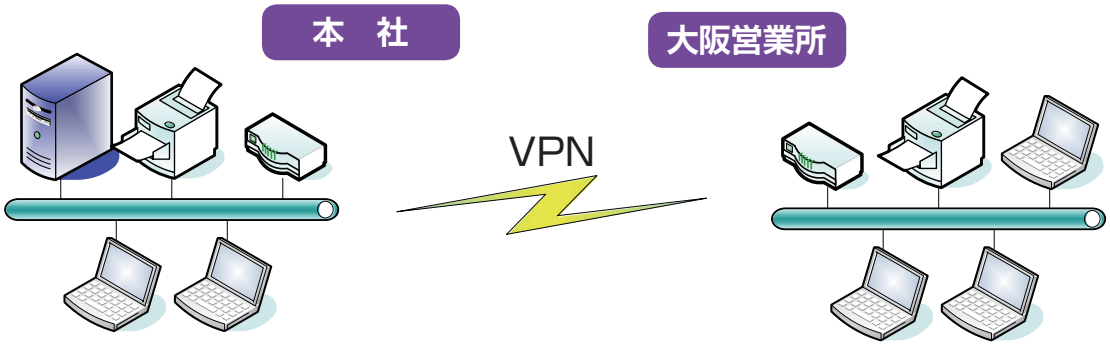
導入目的

営業に３ヶ月先まで見通した物件の確保を意識させ、予算遂行に対する責任意識の向上を図るといった営業の教育が第一目的です。この情報をもとに毎週営業会議を行い、各物件のA、B、Cランクの確認とそのレベルアップを討論します。マネージャが予算と現状の見込みを正確に把握し、どの物件をどのようにアプローチして受注していくかを営業と相談し、方向性を出していきます。その方向性によって見込数字と予算の関係がどう変化していくかも随時シミュレーションでき、早めの対策を打つことで予算遂行の精度を高めることがもう一つの目的です。

システム概要

営業が自分のアプローチしている物件の３ヶ月先までの内容をA、B、Cランクも判断し、入力します。各物件の内容は進展とともに更新されます。その情報をもとに３ヶ月間の売上、粗利の見込管理が行えます。部署別、個人別の売上 / 粗利の予算 / 実績・見込の状況からその数字の裏づけとなる物件状況までが画面や帳票で確認できます。

システム構成



メニュー構成

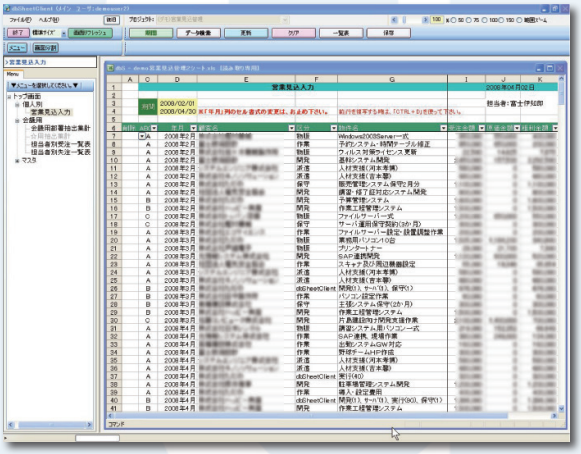
一般営業	営業マネージャ	システム管理者
＜個人別＞ 営業見込入力 ＜会議用＞ 部署別集計 個人別集計 個人別物件照会 部署別個人別物件照会	＜会議用＞ 部署別集計 個人別集計 個人別物件照会 部署別個人別物件照会	＜マスターメンテナンス＞ 予算マスター 部署マスター 営業担当マスター

アプリケーションのボリューム

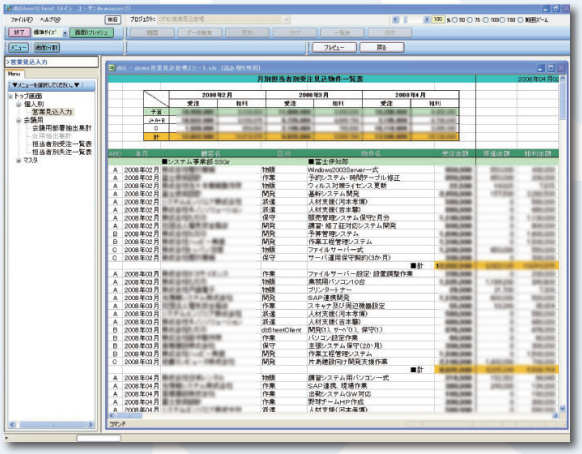
画面数：13
帳票数：8
マスターテーブル：3
データ：1
トランザクション用ワークシート：9

画面事例

営業物件入力画面

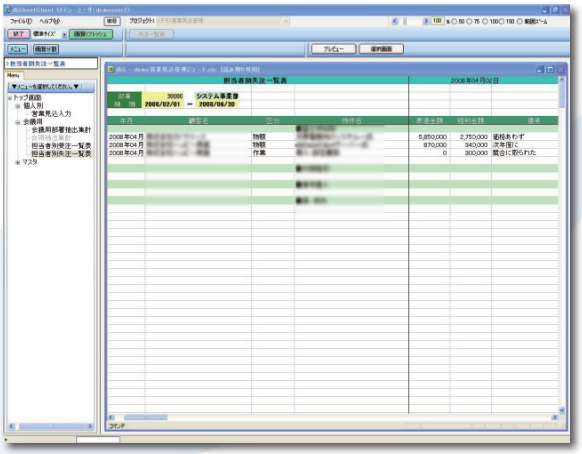


入力物件確認画面



部署別受注・粗利の予算／見込集計画面

失注一覧画面



※ 動画で詳細をご覧いただけます。
「営業見込管理システム」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/movie/

P/L(損益) モニターシステム

導入目的

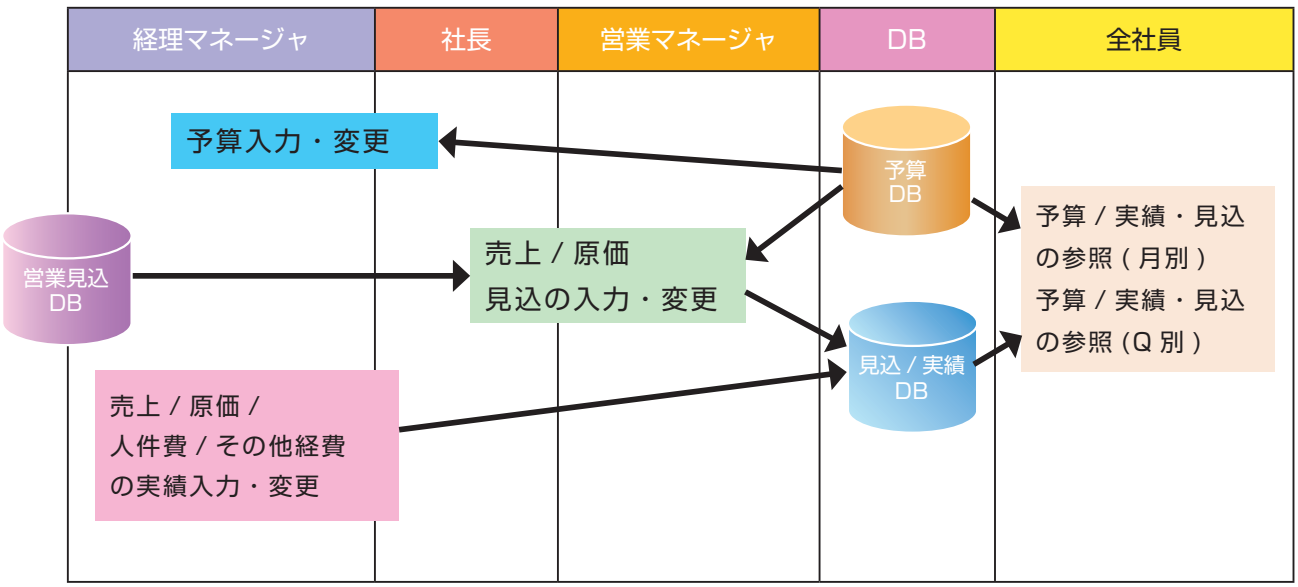
外部環境の変化が激しい中で当初の目論見で予算を達成するのは難しくなってきています。そのため、営業現場では、毎週の営業会議を通して、３ヶ月先までの見込物件のチェックを行い、数字の見込みとその実現に向けた意欲の共有と責任心情をもった営業活動を行っています。このような、見込みの調整を行う時、売上や粗利だけではなく、営業損益までの数字を把握するべきということになり、このシステムを構築しました。

システム概要

予算達成に対し、数ヶ月先の状況を組織で共有し、それに対する対応を１人ひとりが自分の問題として捉える環境づくりができます。社員にオーナーシップを芽生えさせ、自分の関わる部署について、損益を認識した活動を啓発していきます。そのために週単位で精度の高い見通し情報が提供できる運用としました。PL に対する権限管理を行い、会社から公認されたデータを共有しながら、信憑性の高い新鮮なデータで部署別及び全社の損益状況の予算と見込みの把握を行えます。

メニュー構成

①予算入力・変更
②見込 / 実績入力・変更　⇔　売上 / 粗利シミュレーション
③予算 / 実績・見込の参照 (月別)
④予算 / 実績・見込の参照（ Q 別 ）

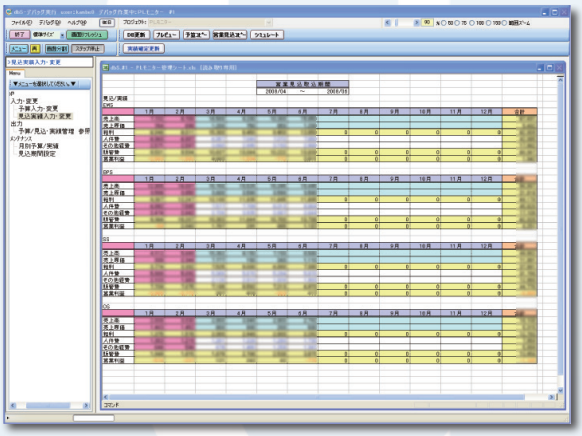


アプリケーションのボリューム

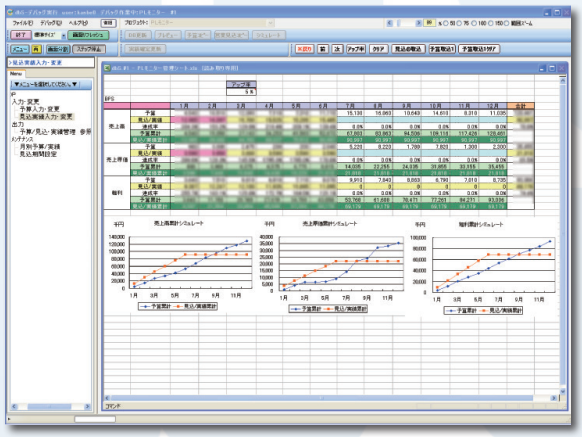
面数：6
帳票数：4
マスターテーブル：2
データ：4
トランザクション用ワークシート：7

画面事例

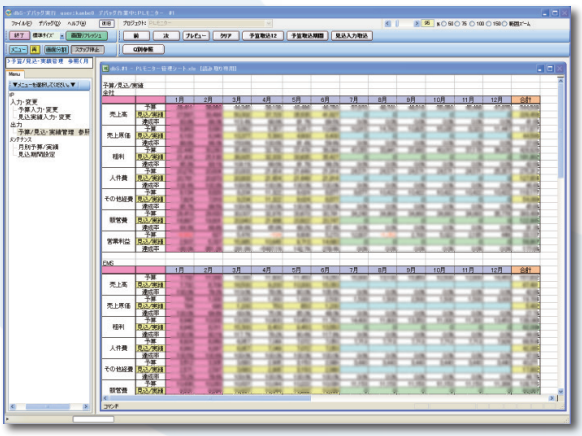
見込・実績入力



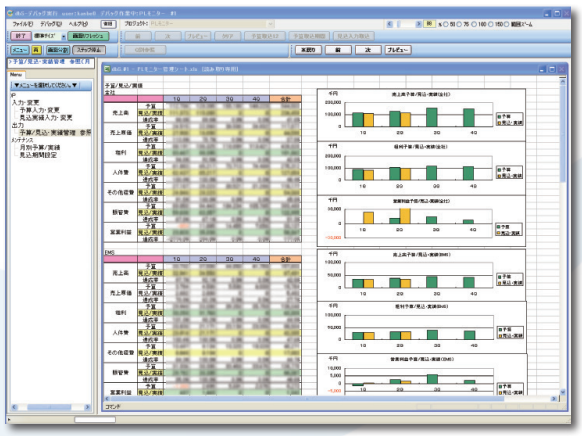
試算シミュレート



予算・見込・実績参照（月別）



予算・見込・実績参照（四半期）

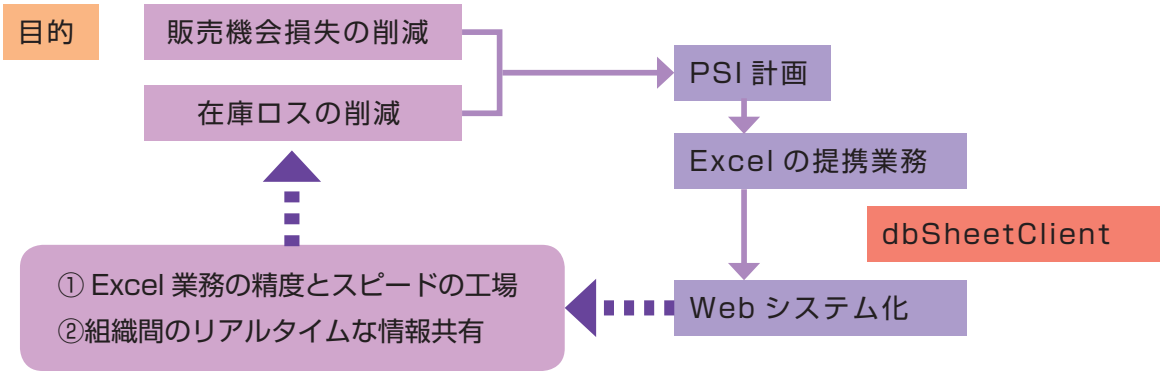


※ 動画で詳細をご覧いただけます。
「P / L モニターシステム」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/movie/

PSI 計画管理システム

導入目的

PSI 計画管理システムは、製造業において営業の販売計画をもとに生産計画の精度を高めるために開発したシステムです。それぞれの組織で計画の変更をリアルタイムに察知することで、Excel 業務の精度とスピードが向上し、さらに業務の意思決定をより細かく行えるようになりました。

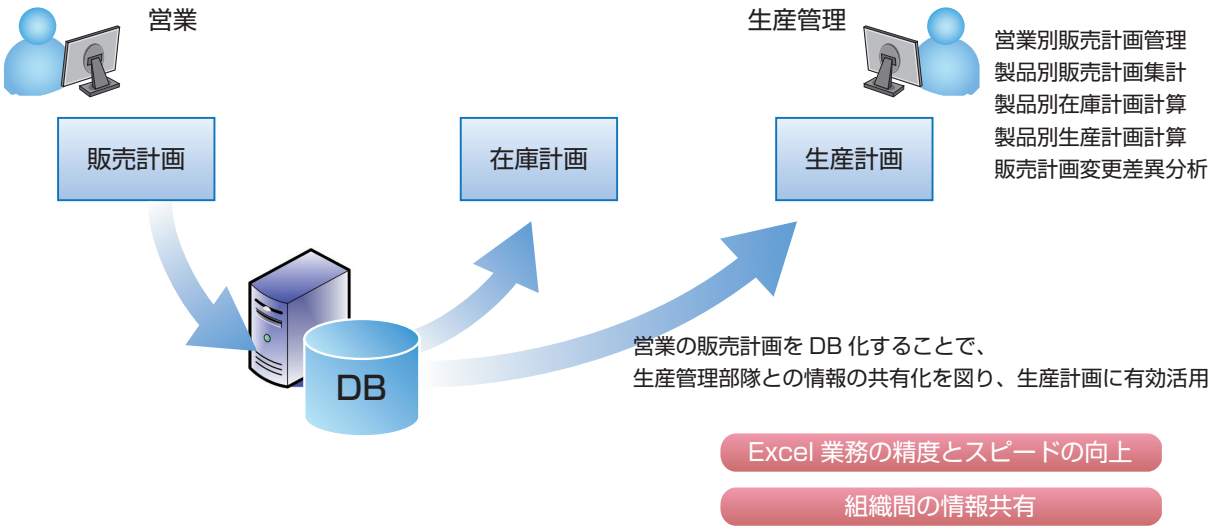


システム概要

業務が連携する組織間で、データの共有化を図ることで業務の精度とスピードの向上を実現しています。製造業における営業部と生産管理部で、営業の立てる販売計画データをデータベース化し、生産管理部が生産計画作成に有効活用しています。

システム構成

営業と生産管理部隊の情報共有

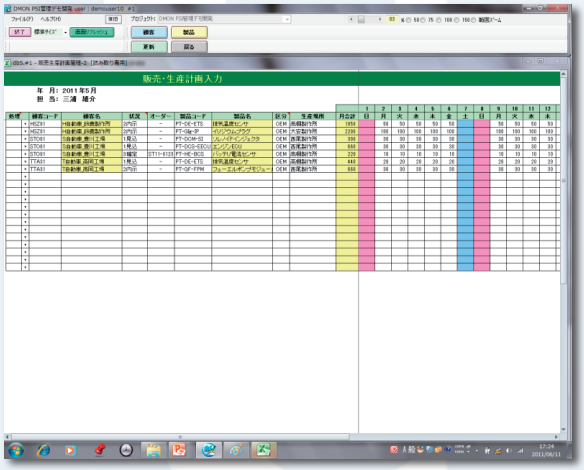


アプリケーションのボリューム

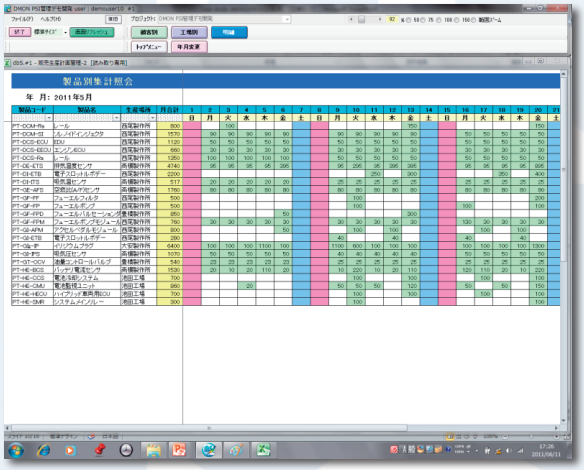
画面数：12
マスターテーブル：2
データ：2
ストアドプロシージャ：3

画面事例

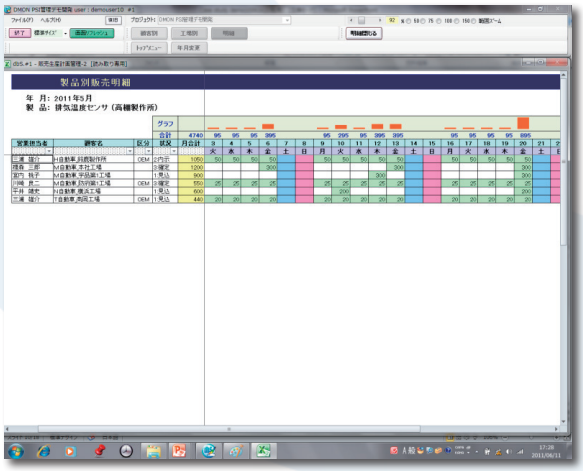
営業担当者用販売計画入力画面



生産管理担当者用販売計画の製品別集計画面



製品別（生産ライン別）販売計画明細

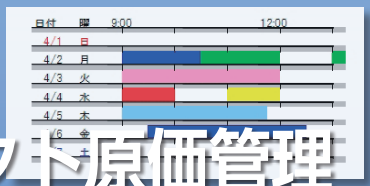


週単位の販売計画の差異分析用画面

※ 動画で詳細をご覧いただけます。
「ＰＳＩ管理デモ」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/movie/

※ 同業務 導入事例
「ウシオ電機株式会社様」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/usrvoice/

ガントチャートによる スケジュール管理 / プロジェクト原価管理



導入目的

システム受託開発物件をプロジェクトとし、そのスケジュール管理及び原価管理をシステム化することにより、以下の３点の改善を図ります。

①プロジェクト別及び SE 別のスケジュール情報が SE チーム・営業チーム間で共有でき、プロジェクトごとの進捗や SE の先々の仕事の繁閑把握をすることで、平準化を考慮した物件受注や SE の仕事割振りに役立ちます。

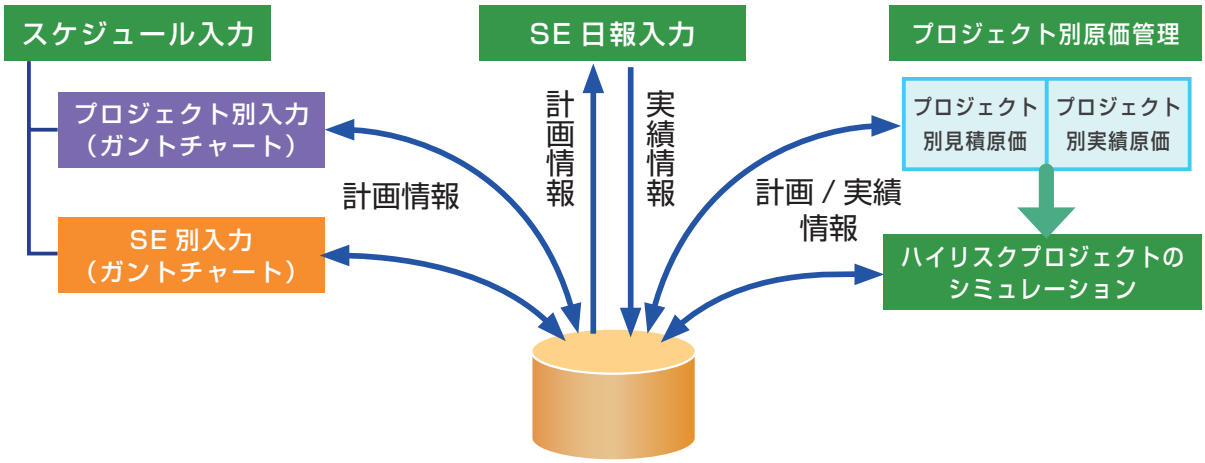
②さらに、SE の日報を管理することで、プロジェクト別の原価の見積 / 実績管理を行うことができます。

③納期遅延、原価割れのリスクの高い物件に対し、人員追加等スケジュール見直しをした場合のシミュレーションができ、ハイリスクなプロジェクトに対する早期見通しと対策立案に効果を得ることができます。

システム概要

システムの機能は、スケジュール管理と日報入力、プロジェクト別の見積 / 実績管理、ハイリスク物件のシミュレーションからなっています。スケジュール管理はガントチャートで行え、プロジェクト別に入力する画面と SE 別に入力する画面があり、お互いの入力情報を反映しあうことができます。そしてこのスケジュール情報は、プロジェクト別の原価見積となります。また、SE が日報入力をすることで、プロジェクト別の原価実績が把握できるので、両者の情報を元に、プロジェクト別原価見積 / 実績の管理ができます。さらに、要求仕様変更や追加で、納期遅延のリスクが高まったプロジェクトに対して、スケジュール見直しをした場合のシミュレーションができ、その結果、納期厳守が可能か、あるいは、原価割れになるか否かの目安を得ることができます。

システム構成

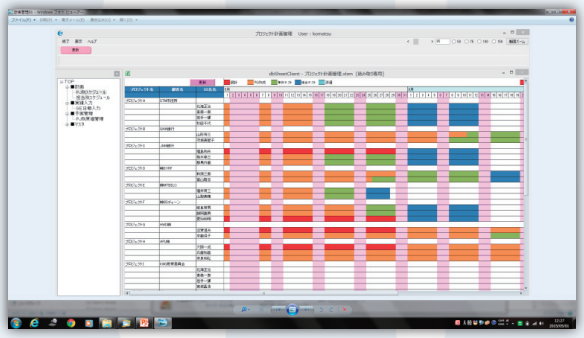


アプリケーションのボリューム

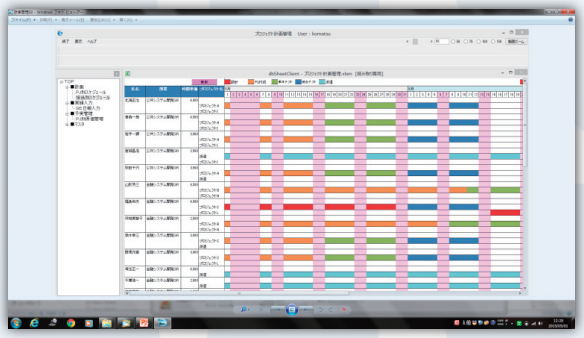
画面数：7
帳票数：3
マスターテーブル：3
データ：3
トランザクション用ワークシート：4

画面事例

プロジェクト別スケジュール



SE 担当別スケジュール



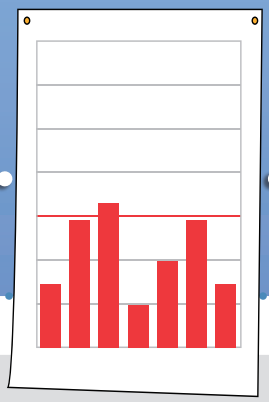
SE 日報入力画面

プロジェクト別原価見積 / 実績管理画面

※ 動画で詳細をご覧いただけます。
「ガントチャートを活用したプロジェクト管理」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/movie/

※ 同業務 導入事例
「SOLIZE Products 株式会社様」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/usrvoice/

能力評価管理システム



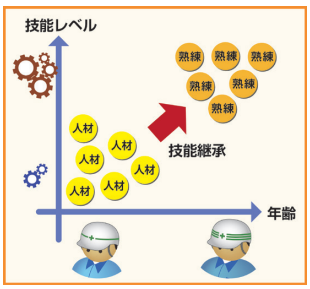
導入目的

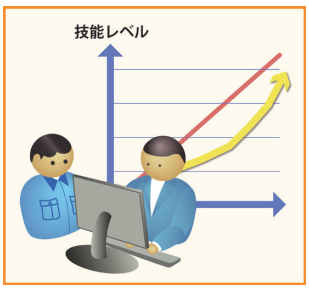
以下の３つの点における能力評価の見える化を図ることが目的です。

①継承レベルの把握を行い、熟練技能の継承を促進する。

②人材の技能情報のデータベース化と必要人材の把握を強化する。

③目標管理や人事評価の支援システムとして活用する。

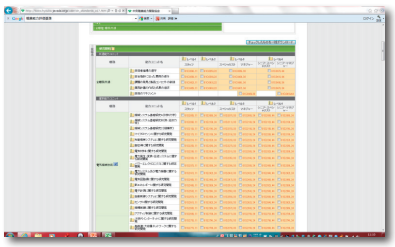




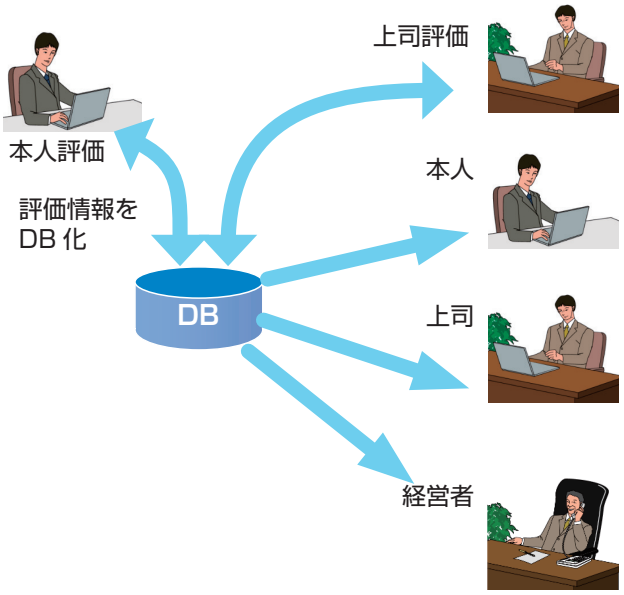
システム概要

本事例紹介のデータは、中央職業能力開発協会（JAVADA）の「職業能力評価基準」を利用しています。

中央職業能力開発協会の Web サイトから能力評価基準をダウンロードし、能力評価基準のマスタを作成しています。その内容を基に dbSheetClient を使って、Web 化を行っています。



システム運用により得られる効用



①前回の結果を参照しながら、今回の評価を行える。
②本人・上司とも、評価シートの管理から、解放される。

①前回と今回の実績確認が随時行える。
②自分の能力評価のバランスをレーダチャートより確認できる。

①過去５回の評価結果から、その部下の成長性を確認できる。
②同レベルの全社員の内容とその部下の位置関係が、確認できる。

①職務・レベル別に戦略的必要人員数と在籍人員数の比較ができ、人材の過不足の状況把握ができる。
②評価実績データを活用して、在籍人員の評価状態を確認することができる。

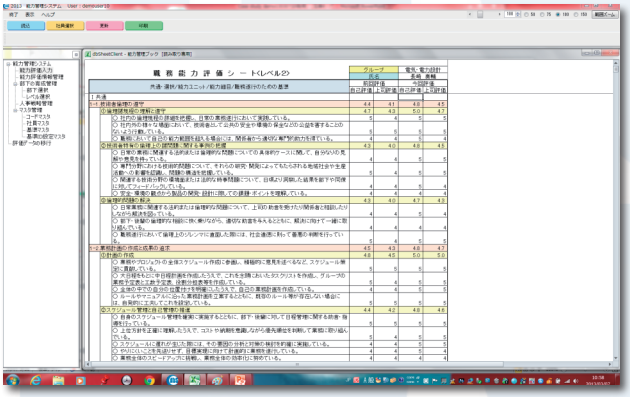
アプリケーションのボリューム

画面数：6
帳票数：9
マスターテーブル：4
データ：2
トランザクション用ワークシート：0

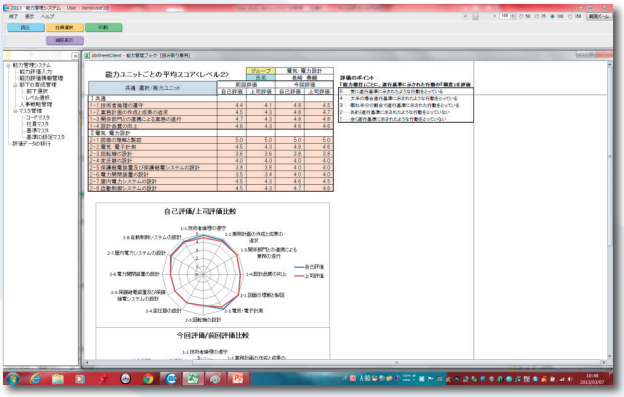
画面事例

能力評価基準マスタのメンテナンス画面

能力評価シート画面



能力評価結果の自己分析画面



部門別能力別要員マップ画面

※ 動画で詳細をご覧いただけます。
「Excel で行ってきた能力評価をデータベース化」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/movie/

※ 同業務 導入事例
「日鉄住金物流広畑株式会社様」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/usrvoice/

BSC の KPI 管理システム

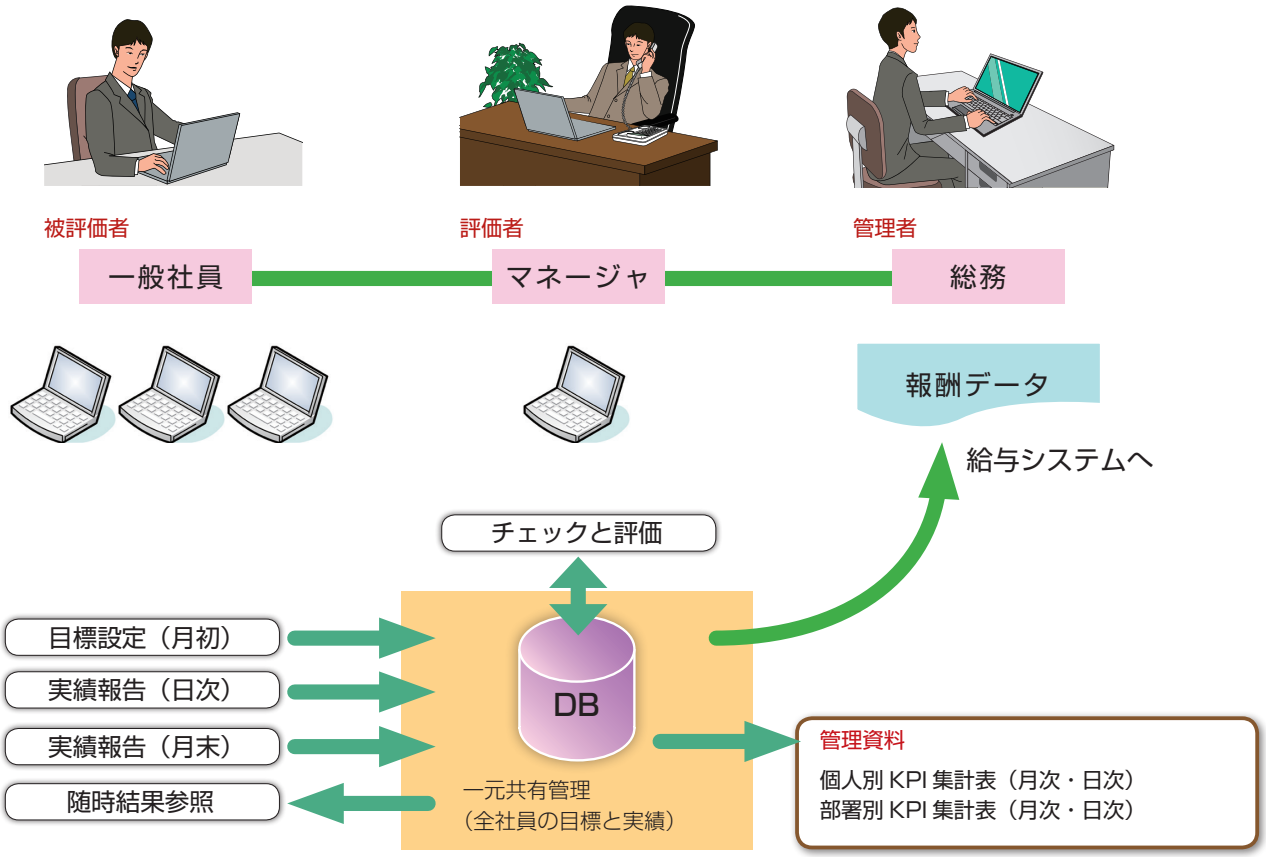
導入目的

BSC(バランススコアカード) により設定した 4 つの視点での KPI の目標と実績の管理を全社員に対して行い、その結果を人事評価につなげます。以前より、「Excel + email」の仕組で同様の業務は行っていましたが、この仕組のシステム化による業務効率化を図ることと DB 構築により KPI をさらに経営や営業管理に幅広く活用できるようになりました。

システム概要

一般社員が KPI の目標と結果の入力を行います。結果は日次で入力することができます。マネージャは結果のマネージメントを行います。給与に反映するスキームはシステムに組み込まれていて評価点が自動計算され、さらにマネージャが部下の評価を行い、評価点を入力します。総務は、マネージャの評価点が入力された状態のものを報酬データとして給与システムに引き渡します。

システム構成



メニュー構成

一般社員	マネージャ	総務
目標設定 実績 結果報告	部署目標設定 部下評価 部署結果確認	＜マスタメンテナンス＞ 社員マスタ　組織マスタ 部署マスタ　配属マスタ 指標マスタ
＜統計処理＞ 個人別日次、部署別日次集計 個人別月次、部署別月次集計		

アプリケーションのボリューム

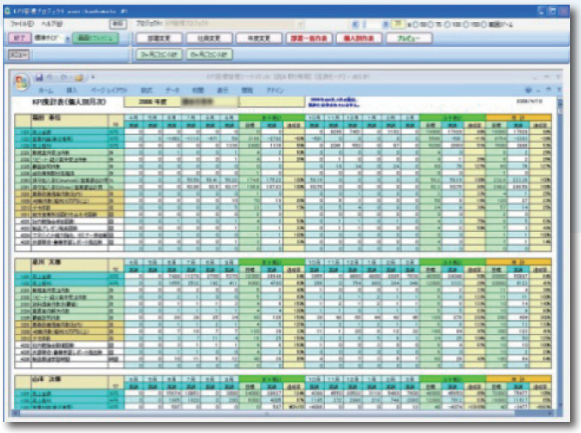
画面数：11
帳票数：4
マスターテーブル：6
データ：10
トランザクション用ワークシート：14

画面事例

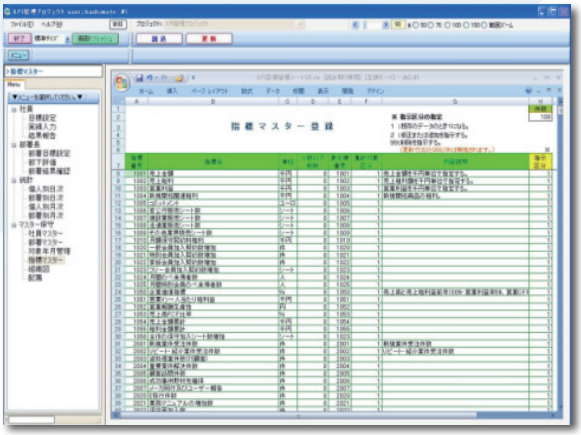
個人目標設定

社員評価

KPI 集計表 (個人別月次)

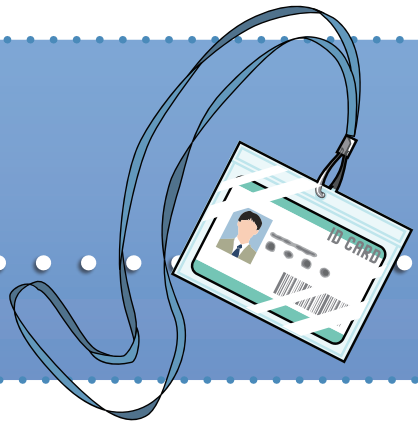


指標マスター登録



※ 動画で詳細をご覧いただけます。
「ＫＰＩ管理システム」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/movie/

勤怠管理システム



導入目的

残業管理を強化するため、残業が多い部署や個人の分析を行い、原因把握や対策のための元情報として活用します。現場の問題把握を行って人件費コントロールをするために有効と判断しました。

システム概要

Excel で作った画面から、毎日の勤怠データを各人が入力します。但し、その日のデータは、その日にしか入力できないように制限しています。また、有給休暇や振替出勤 / 休日等の申請を必要時に各人が入力します。上司は、この申請情報の承認を行います。20 日締めに総務に出すデータを作成します。分析処理として、残業情報を金額面及び時間面から部署別、個人別に分類集計した表及びグラフが表示できます。

システム構成

WindowsServer2003
SQLServer2005

メニュー構成

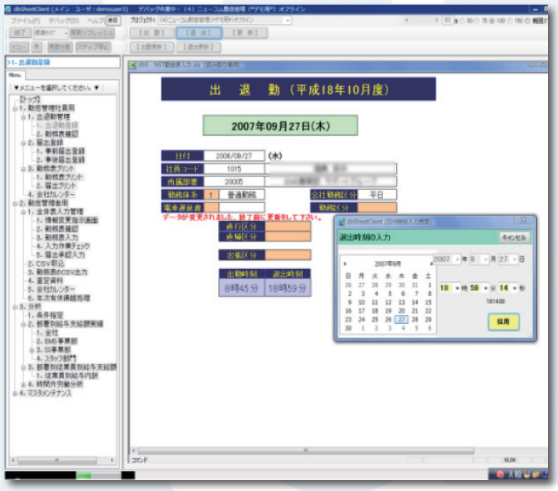
一般社員	総務部門 / 上長・社長	経営者
出退勤管理 　出退勤登録 　勤務表確認 届出登録 　事前届出登録 　事後届出登録 帳票印刷 　勤務表印刷 　届出印刷	全体表入力管理 　情報変更指示画面 　勤務表確認 　勤務表入力 　入力作業チェック 　届出承認入力 CSV 取込 勤務表の CSV 出力 査定資料 会社カレンダー マスターメンテナンス	部署別給与支給額実績 　全社 　EMS 事業部 　SI 事業部 　　BPS グループ 　　SS グループ 　　OS グループ 部署別従業員別給与支給額実績 　従業員別給与内訳 時間外労働分析 　時間外手当内訳 　時間外労働内訳

アプリケーションのボリューム

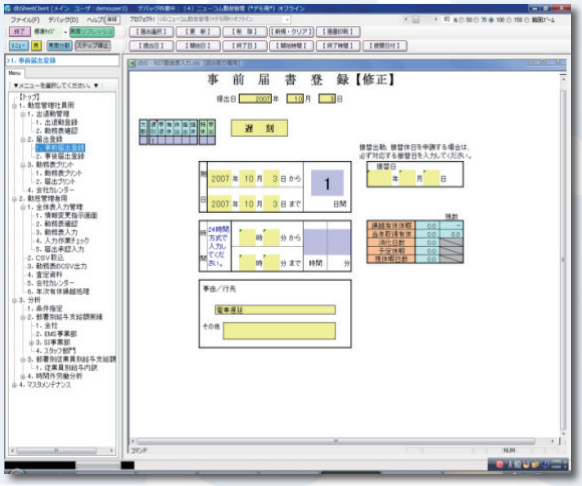
画面数：33
帳票数：15
マスター：14
データ：10
トランザクション用ワークシート：37

画面事例

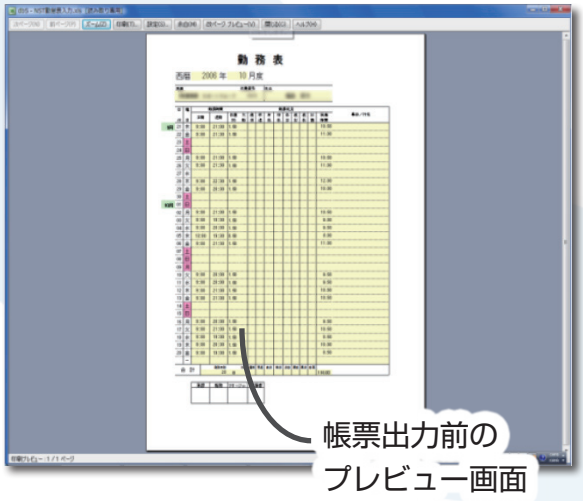
日次の出退勤入力



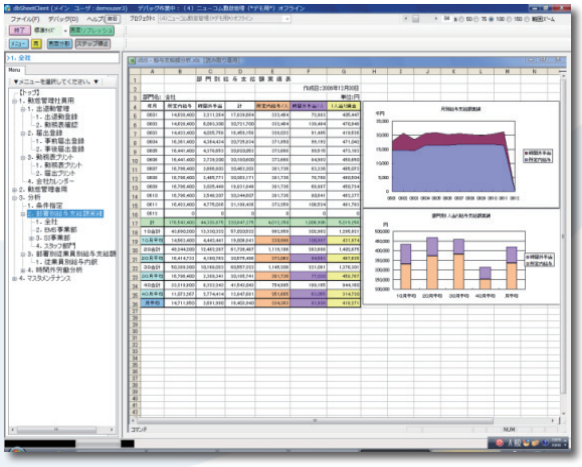
事前届出登録



20 日締めの勤務表出力



給与支給実績分析



※ 動画で詳細をご覧いただけます。
「勤怠入力システムの画面例」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/movie/

※ 同業務 導入事例
「株式会社 上州屋様」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/usrvoice/

小口現金管理システム

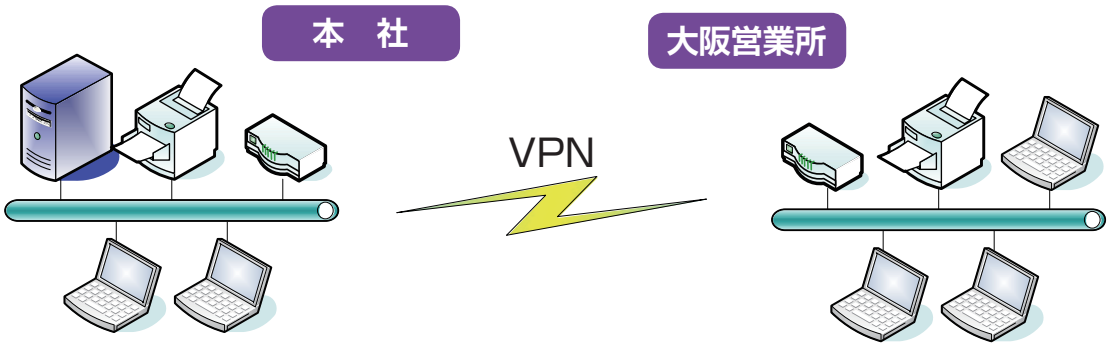
導入目的

現状、手書き入出金伝票と Excel シートで運用している小口現金管理を Web システム化し、経理業務の簡素化及び申請者の入力業務の効率化を図ります。

システム概要

日次（一般社員）月次 (営業) の仮払い / 精算、出張の申請・仮払い / 精算 / 報告 (国内外)、経理の小口現金出納・仕訳・会計システムへの引渡し業務が一貫して行えます。

システム構成



メニュー構成

一般社員	経理部門	システム担当者 (経理)
〈仮払申請〉 日次仮払申請 月次仮払申請 出張願い・仮払申請 海外出張願い・仮払申請 〈仮払精算〉 精算報告 現金入金 事後精算 仮払精算 月次仮払精算 出張精算報告 出張仮払精算 出張報告 海外出張精算 海外出張仮払精算 海外出張報告	〈小口現金管理〉 小口現金出納帳 仮払精算状況照会 仮払精算催促メール送信 仕訳データ確認・修正 仕訳日記帳 仕訳 CSV 出力 小口現金繰越処理 〈仮払申請確認〉 各種仮払申請の確認処理 〈精算報告確認〉 各種精算報告の確認処理	〈マスターメンテナンス〉 システム情報 小口現金名 経理部門 経費区分 経費区分表示制御 入力テンプレート 勘定科目 部署マスター 社員マスター

アプリケーションのボリューム

画面数：47
帳票数：24
マスターテーブル：11
データ：13
トランザクション用ワークシート：17

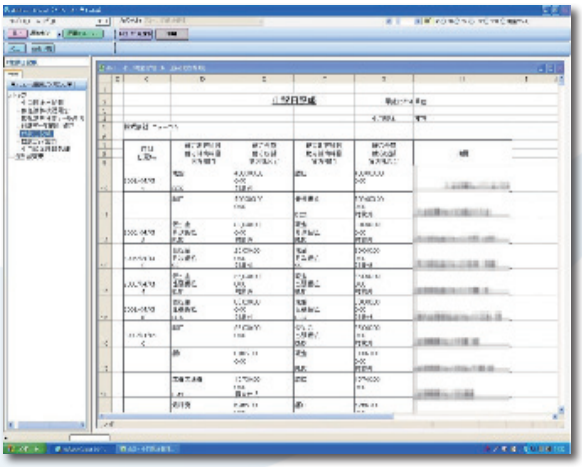
画面事例

月次仮払精算入力画面（営業員向け）

出張願い兼仮払申請入力画面

出張仮払精算入力画面

仕訳日記帳確認画面



※ 同業務 自社内での導入事例
「小口現金管理システム」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/case/

サポート業務支援システム

導入目的

dbSheetClient のユーザーで開発担当している方からの技術問合せに対するサポート業務の管理強化と業務効率の向上を図ることが主な目的です。システムのカバー範囲は、顧客の購入情報管理及び問合せ受付業務～回答までの履歴管理、不具合や機能追加の要件管理までとなっています。サポート部隊と開発部隊の情報の共有化や業務の効率向上を図るのみでなく、製品の品質向上や機能アップの優先付けにも活用しています。

システム概要

ユーザー購入情報管理
　製品のライセンス管理
　ユーザー別製品購入履歴

開発者向けサポート契約管理
　サポート契約番号管理
　契約別期間管理

問合せ物件管理
　問合せ受付、調査依頼
　情報提供依頼、調査回答、回答業務

不具合や機能追加の要件管理
　未回答段階の物件管理（進捗）
　不具合、要望に分離しての管理
　サポート、開発合同進捗会議での活用

システム構成

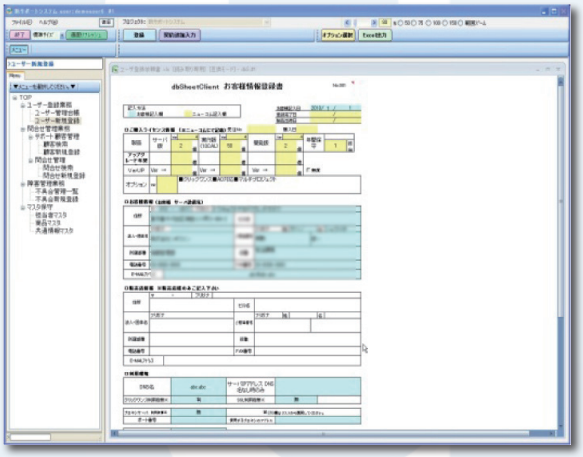
業務	顧客	サポート	開発
● ユーザー購入情報管理 製品のライセンス管理 ユーザー別製品購入履歴	→		
● 開発者向けサポート契約管理 サポート契約番号管理 契約別期間管理	→		
● 問合せ物件管理 問合せ受付、 調査依頼 情報提供依頼 調査回答、 顧客への回答業務	⇄	⇄	
● 不具合や機能追加の要件管理 未回答段階の物件管理（ 進捗 ） 不具合、 要望に分離し ての管理 サポート 、 開発合同進捗会議での活用		↻	

アプリケーションのボリューム

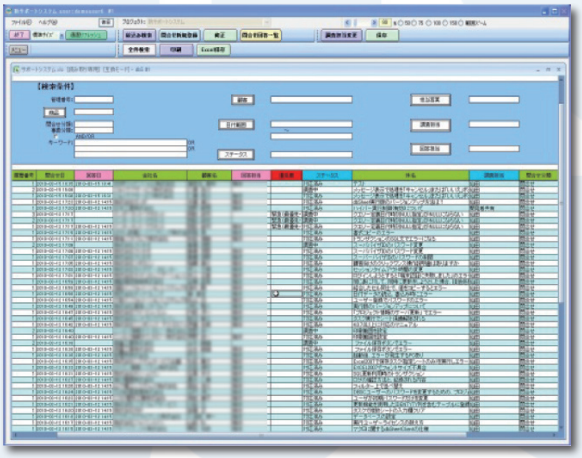
画面数：16
帳票数：1
マスターテーブル：7
トランザクションデータ：6
トランザクション用ワークシート：11

画面事例

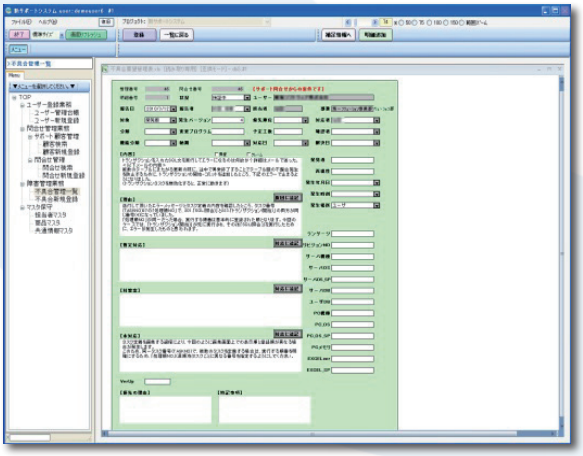
顧客購入情報登録



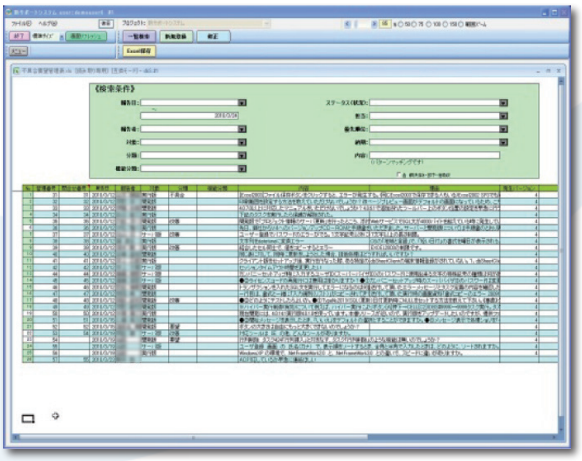
問合せ物件一覧



問合せ物件履歴管理



不具合や機能追加の要件管理



※ 動画で詳細をご覧いただけます。
「サポート業務支援システム」
URL：http://www.newcom07.jp/dbsheetclient/movie/

工事物件管理システム

導入目的

従来は、工事物件毎の受注管理、請求管理、支払管理などを、Excel ファイルで管理していました。そのため、拠点間での情報共有がスムーズにできない、過去の物件情報の検索が簡単に行えないなどの不都合が生じていました。

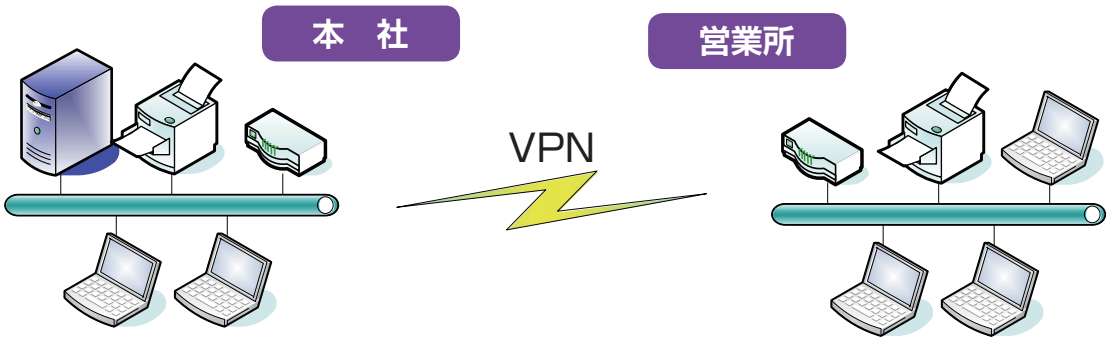
導入目的は、本社、支社における情報共有の効率化と過去の工事物件情報の検索を行い、営業のアプローチに役立てる事が主な目的です。 また、dbSheetClient を使う事により、入力は従来通りの Excel シートが使える事が導入のきっかけとなりました。

システム概要

工事物件報告書入力では、工事物件毎の受注管理、外注業者への支払管理、予算実行状況管理、損益管理に必要なデータを入力しています。入力フォームは、Excel シートで従来のレイアウトとほとんど変わらず、印刷も可能です。

工事物件報告書照会では、工事物件が一覧形式で表示され、概要が確認できます。また、各工事物件の報告書の照会、印刷ができます。今後、工事物件の関連書類である見積書などへのリンク、下請業者への注文書発行なども行う予定です。

システム構成



メニュー構成

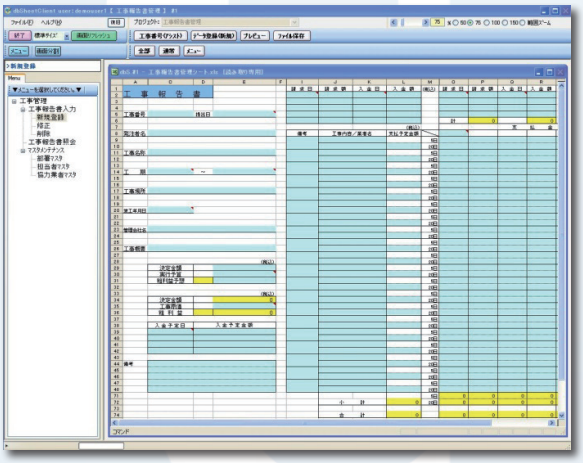
社長、営業、総務、経理	システム管理者
工事物件報告書入力 　新規登録 　修正 　削除 工事物件報告書照会 　一覧照会 　個別の報告書照会	〈マスターメンテナンス〉 　部署マスタ 　担当者マスタ 　業者マスタ

アプリケーションのボリューム

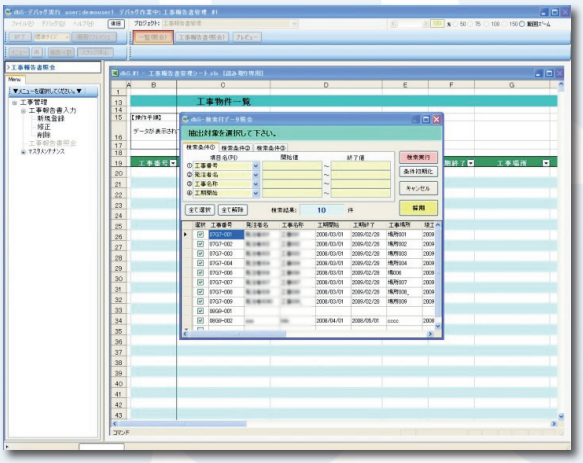
画面数：8
帳票数：3
マスターテーブル：3
データ：5
トランザクション用ワークシート：5

画面事例

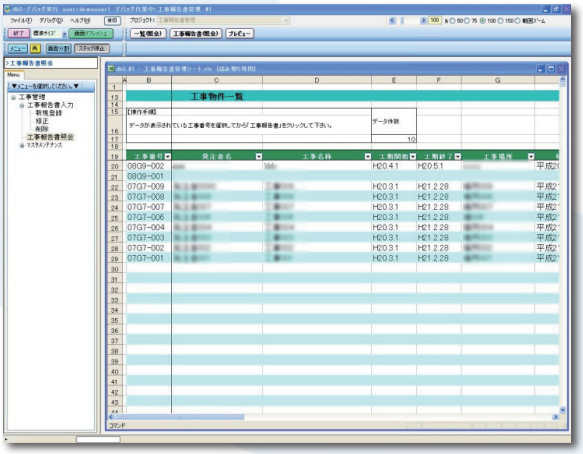
工事報告書入力画面



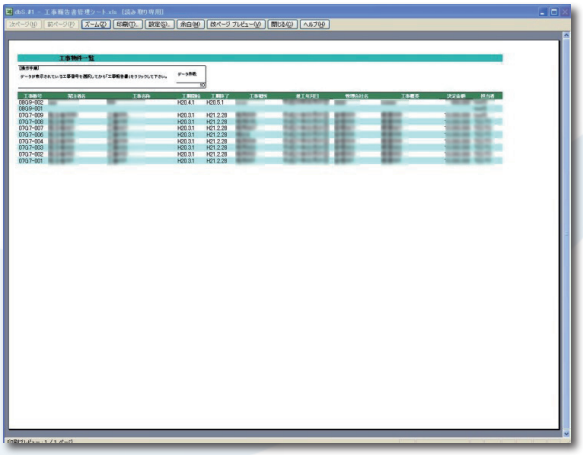
工事報告書検索画面



工事報告書一覧紹介画面



工事報告書一覧印刷プレビュー画面



お問い合わせは下記まで。

株式会社ニューコム

NEWCOM http://www.newcom07.jp

【東日本】本社

住所：〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 7-3-16 ジブラルタ生命浦和ビル
電話：048-815-8460 FAX：048-825-5518
E-Mail：ncm.contact@newcom07.jp

【西日本】大阪営業所

住所：〒532-0011 大阪市淀川区西中島 3-9-13 NLC 新大阪 8 号館 607
電話：06-6838-7270 FAX：06-6838-7271
E-Mail：ncm.osaka@newcom07.jp

【中日本】名古屋営業所

住所：〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2-19-32 Pinetree ビル 5 階
電話：052-265-8089 FAX：052-265-8090
E-Mail：ncm.nagoya@newcom07.jp

San Francisco Branch（サンフランシスコ支店）

住所：1151 Harbor Bay Parkway Suite #206, Alameda, CA 94502
電話：+1-510-849-6198 FAX：+1-510-849-6425
E-Mail：ncm.us@newcom07.jp

このパンフレットは 2016 年 2 月現在のものです。